

2021年7月11日

週報

【招詞】

わたしの舌がまだひと言も語らぬさきに
主よ、あなたはすべてを知っておられる。
前からも後ろからもわたしを囲み



御手をわたしの上に置いていてくださる。
その驚くべき知識はわたしを超え
あまりにも高くて到達できない。

詩編百三十九編四～六節

那須キリスト教会

栃木県那須郡那須町大字寺子丙 1-158

牧師 吉村朝雄

〒329-3222 Tel 0287-72-5455

ホームページ：<https://nasu-kirisuto.kyoukai.jp>

YouTubeでの礼拝ライブ配信は、下記で検索してください

2021年7月11日 那須キリスト教会 主日礼拝



三位一体第7主日礼拝

2021年7月11日

司会：塚原 恵子姉

奏楽：吉村 直美姉

前 奏

招 詞

ローマの信徒への手紙 1 章 3 節後半～4 節 (新 P273)

頌 栄

2 編 1 (1, 2 節)

主の祈り

交 読 文

詩編 53 編 (旧 P886) (聖書を1節ずつ交読します)

祈 禱

吉村朝雄牧師

讃 美 歌

502 (1, 2 節)

聖 書

ルツ記 4 章 11～22 節 (新 P427)

説 教

「神に愛された罪人、ダビデ」 吉村朝雄牧師

讃 美 歌

「主よ、おおいたまえ」 プレイズソング 32

聖 餐 式

使徒信条 聖餐感謝の祈り 讃美歌 205(1,3)

献 金

547

頌 栄

543

祝 禱

後 奏

【本日の聖書】

ルツ記 4 章 11～22 節(旧 P427)

マタイによる福音書 1 章 1～17 節(新 P1)

詩編 72 編 18～20 節(旧 P907)

【報告】

- 東京には4回目の緊急事態宣言が発出されました。しかし、わたしたちの日常生活には何一つ変わることはありません。これまでどおり、三密を避け、ワクチンを受け、対面ではマスクを着用し、手洗いをする。当たり前のことを当たり前にするだけです。コロナ感染の終息を願い、心静かに落ち着いた日々を祈りをもって過ごしましょう。
- 礼拝時間短縮のため、讃美歌は1、2節のみ賛美します。
- 本日の「ひつじかい」は礼拝後、会堂内で行います。
- ライブ配信継続中。YouTubeで公開しています。
- 「やさしい聖書の話」(水)「聖書の夕べ」(木)は当分の間お休みします。
- 本日礼拝後定例役員会を行います。

【次週の予告】

7/18(日) 三位一体第8主日礼拝

「人間は考え、神が導く」 サムエル記上16章1～13節

讃美歌 2篇1. 「主よ、おおいたまえ」(プレイズ32). 298. 543.



主の祈り

天にましますわれらの父よ
ねがわくは、み名をあげさせたまえ。
み国を、きたらせたまえ。
みこころの天になるごとく、地にもなさせたまえ。
われらの日用のかてを、きょうもあたえたまえ。
われらに罪をおかすものを、われらがゆるすごとく、
われらの罪をもゆるしたまえ。
われらを、こころみにあわせず、悪よりすくいだしたまえ。
国とちからとさかえとは、かぎりなく、なんじのもの
なればなり。

アーメン

ようこそ那須キリスト教会へ！

〔はじめての方へ〕

- ・よくおいでくださいました。神様と共に喜んで歓迎いたします。
- ・聖書（新共同訳）、讃美歌をお持ちでない方は、教会備え付けのものをお使いください。
- ・礼拝順序など、とりの方に遠慮なくお聞きください。
- ・礼拝献金は感謝の“しるし”として献げるものです。額は自由です。受付にある封筒をご利用ください。
- ・ご相談のある方は牧師、担当の者が承ります。お声をかけてください。
- ・集会は下記の通りです。

★ 「礼拝」（日）午前 10：30～12：00

◎ 「やさしい聖書の話」と「聖書の夕べ」は、当分の間お休みいたします。

【那須キリの声】～牧師室から～ 「やさしい日本語」を考える。

「やさしい日本語」を考えておられる言語学者 庵 ^{いおり} 功雄 ^{いさお} さんへのインタビュー記事を新聞紙上で見ました。26 年前の阪神大震災で、多くの在日外国人の方々が避難先などの重要情報を得られずに、二次被災した苦い経験から、災害時に大切な情報を伝えるために考案されました。「やさしい日本語」は、平仮名表記にすればいいというものではありません。台風への警戒を平仮名だけで「がいこくじんのみなさんへ」と呼びかけた NHK のツイートが、「ばかにしている」と炎上したことがありました。「やさしい日本語」は、外国人との会話のための道具ですが、日本人のためでもあります。例えば、自治会に入るよう外国人を説得するとしたら、何をどのように言えば理解してもらえるでしょうか。何をやる集まりなのか。予算は何に使うのか。全く違う文化、宗教を持つ人に自分たちの考え、習慣をどう理解してもらうか。これは、日本人の「説明力」を鍛えるためにも有用なのです。来日した定住者が漢字を使えるようになるのは、相当に高いハードルです。小学校高学年で来日した子は中学校入学までに千字を覚えなければなりません。大人ならさらに、数千の文字を区別し、それを使って仕事をしろと言われたら、できるでしょうか。そこで、重要な役割を担うのが地域の日本語教室という「ボランティア」の働きです。その教室が外国人にとっての「居場所」になること。そこに行けば、日本人が相談に乗ってくれる、一緒に考えてくれるという安心感が何よりも重要なことなのです。そうした信頼関係が形成されてはじめて、「教育」が可能となる、と言います。「やさしい」には「易しい」と「優しい」の両方の意味が込められています。外国人や障害者にやさしい町は、すべての人にやさしい町です。那須町がそんな町になりますように。